

千葉県袖ヶ浦福祉センター更生園
指定管理者（候補者）の選定結果について

**1 選定結果
概要**

指定管理者 候補者	千葉県袖ヶ浦市蔵波字鎌倉街道 3 1 0 8 番地 1 社会福祉法人千葉県社会福祉事業団
予定指定期間	平成 3 0 年 4 月 1 日～平成 3 5 年 3 月 3 1 日（5 年間）
提案の概要	<p>1 施設の設置目的を踏まえた運営方針</p> <p>（1）施設運営に係る基本的な考え方等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成 2 5 年 1 1 月の児童虐待死亡事件を風化させずに伝えていくことで、事件を起こした事業者としての役割を果たす。 ・管理職が支援現場に直接関わり、理念や目標の発信・啓発、内部統制の徹底により、より良い支援を行う職場環境と人間関係の構築に取り組む。 ・強度行動障害対応型グループホームの創設計画や一人ひとりの特性に合わせた、地域で暮らすための環境設定、利用者や保護者の地域移行への不安を取り除く取組により、通過型施設として利用者の地域生活への移行を推進する。 ・利用者の個性を尊重し、個々の障害特性や行動、疾病等の状況に配慮し、意思決定支援により、一人ひとりの意思を尊重した支援を行う。 <p>（2）保護者、地域住民、関係機関、県内他法人等との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・民間施設での受入れが困難な方に、空室を使用しての緊急的な受入れを実施し、セーフティネット機能の役割を果たす。 ・地域で生活する障害者が診療室で「医療機関の受診に慣れる取組」を行い、その後の地域医療機関での受診が容易になるよう支援する。 ・他法人での研修や外部の相談支援事業所との連携、相談支援アドバイザーの派遣等により、支援の透明性を高める。 ・保護者会と職員の合同会議を定例的に実施し、情報と運営課題の共有に努め、信頼関係を構築する。 <p>2 利用者の権利擁護と安全確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・権利擁護委員会に外部委員として、苦情解決第三者委員や保護者等を迎え、意見や助言を環境改善やサービス向上に繋げる。 ・権利擁護部会でヒヤリハット事例や事故の検証等を行い、情報共有を徹底するとともに、権利擁護を意識した組織作りを行う。 ・権利擁護やサービス向上、職員の提案事項等をテーマに少人数のグループディスカッションを定期的の実施する。 ・利用者の特性に合わせた食事の提供及び適正な摂取量の把握により健康管理を徹底する。

<p>提案の概要</p>	<p>3 利用者サービスの向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・強度行動障害等のある利用者については、応用行動分析と TEACCH プログラムによる構造化の手法等に基づき、チームで一貫した対応を行い、P D C A サイクルにより行動改善を図る。 ・医療的支援が必要な利用者や認知症を発症した利用者については、診療室と連携し、疾病の早期対応に努める。 ・嚥下機能の低下や誤嚥防止のため、診療室歯科と連携し、口唇訓練等を行う。 ・認知症を発症した利用者の支援については、認知症専門研修への参加や認知症ケア専門士等の資格を取得するなど職員の専門性向上を図る。 ・相談支援専門員や相談支援アドバイザーなどの意見を取り入れ、本人の意思決定を踏まえ、支援計画を作成する。 ・利用者本人部会を開催し、外出や食事などに利用者の意見や希望を取り入れる。 <p>4 施設の維持管理と適格性・実現性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日常的な機器の故障や器具の破損等、緊急性を要するものについて迅速に対応し、利用者の安全確保・生活環境の保全に努める。 ・事業規模の変化に伴い、職員の適正配置と業務改善を進める。 ・利用者に安全で快適な生活の場を提供するため、施設設備の機能保全、施設の開放性を確保するための改修を行う。
<p>選定理由</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○県立施設としての役割を理解し、ガバナンスの強化や支援の質の向上に向けた取組など、適正な管理運営が期待できる。 ○小規模ケア及び利用者の希望に沿った地域での暮らしを進めるため、地域移行推進に取り組む計画が評価できる。 ○診療室と連携して、医療的ケアや認知症対策を要する障害者の特性・ニーズに応じた支援を適切に計画している。
<p>応募者数</p>	<p>1 団体</p>